

事業計画書

令和8年度

施設名 横浜市緑区民文化センター

指定管理者 みどりアート&メディアパートナーズ

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報保護の措置について

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

2 自主事業に関すること

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

① 基本理念について

「緑区民文化センター みどりアートパーク」は文化芸術を通じて地域の人と人の絆をつくることを目標に緑区内で運営される唯一の文化専門施設です。4社でつくる指定管理者「みどりアート&メディアパートナーズ」は、文化芸術を通じて地域の人々の絆をつくるのが一番大切な役割であると意識して前期5年間の運営を担い、コロナ禍を乗り越えて目標を達成することができました。

令和6年度から第2期の指定管理を任せていただき、構成団体の強みと、前期5年間の成果である信頼と実績、豊かな知見・ネットワーク・情報を最大限に活かし、思い描く5年後として次の三つの項目を掲げてスタートしました。

1. 多様なコミュニティ、区民、施設、アーティストがより良いつながりを持ち、文化活動を活発に行うことによって緑区がいつそう子育てしやすい街、魅力ある街、住み続けたい街になっています。
2. 年齢や障がいの有無、出身国にかかわらずすべての区民が一体感を持って、地域に根差し地域の特徴を生かした文化活動を主体的に行い、地域の魅力を発信し街全体のにぎわいを創出しています。
3. みどりアートパークは、健全な経営と一歩踏み込んだサービスで、地域を理解し地域にコミットし、地域に必要とされる施設としてすべての緑区民に支持されています。

以上の3項目を実現するための方法論として、5カ年をかけて次の四つのミッションに取り組みます。

1. 「つなぐ」力で地域の文化活動を支援、文化活動に関わる人材を育成
2. 社会や地域の課題に寄り添う
3. 北部文化施設連携のコアとしての役割を果たす
4. 施設の適正な管理・利用促進・経営の安定

令和6、7年度にそれぞれの項目で実績を上げることができました。引き続き2期目3年目の令和8年度も、ご利用・ご来場のみなさまに「快適な居場所」と感じられるような運営を心がけ、さらに信頼と実績を積み上げてまいります。

② 予算の執行について

指定管理第2期の目標を念頭に、すべての項目に対して月次予算を組み、月間ベースでの収支の状況を把握・確認していき、令和8年度の収支予算達成を目指します。

この数年、経年劣化による多くの消耗品交換や設備などの不具合が多発し、令和8年度はさらにその拍車がかかってくると予想されます。設備の更新・保守点検などの必要性を配慮して迅速に判断・実施に移し、利用者への安全性やサービス向上につながる支出には、各月の収支のバランスを図りながら柔軟に対応していきます。

また、指定管理料に頼らない収入の道を模索する中で自主事業の拡大に向け、効率も重視しながらも様々な投資を行い、必要に応じて大胆な措置も行います。

支出の経費については全体として令和 7 年度予算を基準に物価スライドの上昇額＋2.9%を反映した支出予算を組みました。

1. 事務費

◇消耗品費は、経年劣化の分を含めて増額。

◇備品購入費は、貸出・施設備品等の経年劣化による更新増を想定して増額。

2. 事業費

◇事業費は、現状計画されているもののほか、新たな事業創出を目指して、バランスの取れた収支になるよう、月次で管理してまいります。

3. 管理費

◇光熱水費については、電気・ガス料金の政府による補助の終了、夏の酷暑・冬の気温の乱高下など気候の不順を考慮しつつ、また中東情勢の影響も含め令和 7 年度実績値を基準にそのやや高めの額を予算値としました。その範囲内に収めるように引き続き利用者に負担をかけない範囲で省エネを励行し取り組みを行います。

◇進行する経年劣化等による不具合や耐用年数の限界に対応するため、また、点検費用の値上げや回数増にも応じることとし、修繕費・設備保全費を清掃費などとともに昨年より増としました。

◇令和 7 年度予算を実算に基づいて精査し、不必要な項目や急を要しない項目をカットしつつ、オンラインシステムや受付キャッシュレスシステムの手数料や運用費用を「キャッシュレス手数料」として動向を管理します。

◇事務経費も物価スライドの上昇を反映させ、増とさせていただきました。

③ サービスのあり方について

基本理念達成に向けたサービスのあり方として、理念実現のための四つのミッションの遂行に取り組んでまいります。

1. 「つなぐ」力で地域の文化活動を支援、文化活動に関わる人材を育成

5 年に 1 度開催されるピアノの世界最高峰のコンクール「ショパンコンクール」で昨年、日本人最高の 4 位に入賞した桑原志織さんのリサイタルが決まりました。若手ピアニストの目標となるような演奏会になるほか、当館ホールとピアノのプレゼンスを上げてホールセールスにも結びつく目玉公演になることは間違いありません

これを筆頭に、前期指定管理期間から培ってきている地域の人と人、地域と企業、地域と外国人居住者、地域と次世代の担い手、地域と区内施設等を「つなぐ」力で、区民の文化活動を強力に支え、様々な人材育成の取り組みを行います。

ほかには「みどりアーティストコミットメント」「みどりピアノアンバサダー」など他館では真似のできない人材育成システムを継続し、「みどりアートパーク育ち」のアーティストとつながり、支援します。

ラテンジャズのワークショップ「ビッグバンド道場」には幅広い年代が集まって定着しており、「ビッグバンドのまち長津田」構想にもつながる一つの流れを築きつつあります。

県内では当館オリジナルといえるインクルーシブダンスワークショップ「のはらハみどり」に関連して同様イベントのファシリテータを育成する「のはらカレッジ」を都内ホールと連携して継続します。

好評の神奈川フィルハーモニー管弦楽団レクチャーコンサートを引き続き行うほか、みどりアートパーク寄席のレギュラー落語家で昨年真打ちに昇進した瀧川鯉丸師

匠には引き続きご登場いただきます。

横浜市中学校（北部地区）演劇発表会、県立白山高校の卒展「白山美術展」、「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」でのアウトリーチなど、地域の学校の文化活動を支援します。

2. 社会や地域の課題に寄り添う

区内唯一の専門文化施設として、自治会をはじめとする地域のコミュニティとともに、住みよい街づくりのための活動に文化で貢献します。その集大成となるオープンデーでは地域のつながりをより強くしていきます。

横浜市や緑区の政策に沿って、SDGs や DEI (Diversity, Equity, Inclusion) を意識した運営を行います。定着した独自企画のインクルーシブダンスワークショップ「のはらハみどり」や「SDG s 映画上映会」で多くの方に楽しんでいただきます。

ダンスや器楽のワークショップ、体験型バックステージツアー「子どもアドベンチャーカレッジ ホールのお仕事探検ツアー」のほか、「CFX を弾こう！」など体験にフォーカスした事業や幅広い世代が無料で気軽に文化芸術活動に参加できるオープンデー、ロビーコンサートなどを継続します。

消防音楽隊の演奏を楽しみながら劇場で被災した状況を想定しての避難訓練に参加していただく「横浜市消防音楽隊避難訓練コンサート」やつながりをつくる音楽イベント「みどり音楽空間」など、地域のニーズに沿って当館の強みを活かした双方向性のあるオリジナル事業を継続的に実施します。

地域が一体感を持って取り組む「ビッグバンドのまち長津田」構想をサポートします。みどりビッグバンドジャズパーク、みどりビッグバンド道場など次々と企画を展開します。

このほか、横濱ジャズプロムナード実行委員会と連携して開催する「綾戸智恵スペシャルライブ」も師走の目玉企画になりそうです。

3. 北部文化施設連携のコアとしての役割を果たす

市内中心部だけでなく周辺部での文化振興に注目が集まっている今、北部4区での文化施設の役割が重要視されています。これまでも連携を図っていた青葉区民文化センターフィリアホール、ギャラリーあざみ野に、港北区民文化センターミズキーホール、都筑区民文化センターボッシュホールを加えた北部文化施設連携のけん引役を当館が担い、北部地域の文化振興に寄与します。

4. 施設の適正な管理・利用促進・経営の安定

前期に引き続き、公平、公正、安全・安心な施設管理を行い、これまで以上に利用者目線でのサービスを充実させ、安定したホール経営を行います。

シニアのためのスマホ教室からLINEのお友だち登録につなげるなどイベント連動の利用促進を続けていきます。

1 施設管理に関する基本方針

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方

横浜市緑区は、横浜市の郊外住宅地の特徴が表れているファミリー層や高齢者が多い地域だと捉えています。またその上記で触れた連携している北部文化施設のある4区の中でも、より高齢化率が進んだ地域であると考えます。現在は、4分の1程度といわれている65歳以上の割合は、近い将来3分の1まで上がると言われています。

そういった高齢の利用者でも、安心してご利用いただけることはもちろん、地域の憩いの場として積極的に足を運びたいような施設運営を心がけます。それと同時に、今はまだご利用になっていない若い世代の方に、足を運んでもらう機会を意欲的に増やしていきたいと考えています。

② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方

区民にとって、身近な場で文化芸術に触れることは、心豊かな生活の礎となり、地域の魅力に繋がるものと考えています。その場をより良いものとし提供できるよう、これまでの指定管理期間で築いた区民、自治会、商店街、区内活動団体、教育機関等と更に連携を深め、地域に寄り添う運営を心がけます。

地域の防災をはじめとした様々な研修や勉強会などに参加をしながら、近隣の地域ケアプラザなど他の施設職員とも意見交換、情報共有をするなど積極的にコミュニケーションを図っていきます。

また利用者ニーズにつきましては、館が「何を求められているかを」正確に把握できるよう、定期的に施設利用者アンケートを行い、可能な限り迅速に対応していきます。みどりアートパークが、新たな団体の結成や、企業、個人等との出会いの場となることを目指し、さらに区内全域にその輪を広げていきたいと考えています。このつながりの広さ、深さが、地域の文化芸術活動の振興に寄与するものと確信しています。

年齢や障がいの有無、出生のルーツなどに関わらず、全ての区民、ご利用者が、地域に根差し、地域の特徴を生かした文化活動を主体性を持って行い、地域の魅力を発信し街全体の活性化を促していきます。

みどりアートパークは、健全な経営と一步踏み込んだサービスで、多くの区民、地域に必要とされる施設として支持されていくよう努めます。

③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

区内外の様々な施設や団体、アーティストとの連携により、オープンデーやロビーコンサートなどの事業を実施するほか、みどりピアノアンバサダーやみどりアーティストコミットメントといった独自の取組みで、地域の人材と繋がり、ニーズを十分くみ取ったうえで、きめ細かく継続的にサポートをしていきます。

また、従前より密に連携を図っていた市民ギャラリーあざみ野と青葉区民文化センターフィリアホールに、新たにオープンした港北区民文化センターミズキーホールと都筑区民文化センターボッシュホールを加えた北部文化施設連携において、引き続き相互連携事業を提案したり、毎月連絡会議を主催するなど中心的役割を果たしていくことによって、地域のニーズに寄り添い、少子高齢化やデジタル化推進、旧住民と新住民との交流、区内の外国人へのアプローチといった様々な地域や社会の課題に取り組めます。

1 施設管理に関する基本方針

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

① サービス提供に関する基本的な考え方

利用者、来館者へ満足度の高いサービスを提供できるよう、技術面・接遇マナー・防災意識の向上を図るため、研修・訓練を充実させ、不測の事態でも、滞りなく運営ができるようスキルアップを図ります。利用者、来館者の意見に注意深く耳を傾け、常に利用者ファーストな運営を心がけます。

② 施設の利用に関する取扱いについて

ホール、貸室の設備備品、内装を良好な状態で保ち、機能を維持するよう努め、施設の長寿命化に寄与します。同時に定期的な点検スケジュールを組み、個々の状態把握や計画的な修繕の実施、突発的な異常が発生した際も迅速に対応いたします。

日々の清掃も徹底し、常に快適な環境を利用者、来館者に提供できるように安心安全な施設管理業務に努めます。

引き続き、館内のアルコール消毒や換気等による感染症対策を継続していきます。

③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

全ての利用者が安心して文化的活動に参加、開催できるよう、施設の利用やイベント制作に関するアドバイザーとして「ステージコンシェルジュ よろず相談」を設置しています。当館施設の利用の有無に限らず、幅広く相談に対応し、イベント制作地域のコミュニティ形成の推進を図ります。

④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

(ア) 苦情が発生した場合は、現場の責任者が迅速に対応する。直接、申出者から話を聞き取り施設側に問題がある場合は申出者へ心から謝罪し、改善方法を説明するとともに同じことが再発しないよう改善策を講じる。改善内容については必要に応じてホームページやロビーの掲示ボード等で公開する。

(イ) 苦情の内容と対応した内容を記録した「苦情事例集」を作成し、その原因と対応を整理・蓄積することで深層的問題の発見と問題解決の糸口として活用できるようにする。作成した「苦情事例集」はサーバー管理により職員間で共有するとともに、対応に関するシミュレーションを実施することで苦情発生時に適切な対応ができるようにする。

(ウ) 公の施設の指定管理者として「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に則り、「指定管理者の情報公開に関する規定」を作成し、それにもとづき情報公開の請求があった場合には適切に対応する。

1 施設管理に関する基本方針

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

①本年度の経営に関する基本方針について

(1) 趣旨

文化施設での実務経験と各分野の専門知識を持つ経験豊かなスタッフを配置し、地域に根差した活動を企画、支援するとともに、大物アーティスト出演による注目公演の実現を2本柱に据えた運営を実施します。地域文化を育てるのは区民自体であると考え、引き続き「安心安全に」文化芸術活動を続けられるよう支援するとともに区民に寄り添い、次の運営方針に沿って取り組みを進めます。

(2) 重点項目

1. 文化芸術の活動と体験の場となる（文化芸術に関する活動と体験の場を提供することで、市民の活動を支援する）

ア. 「お客様目線・利用者目線」でニーズに寄り添うための新しい取り組みをする。

イ. 各利用スペース稼働率維持・向上への取り組みをする。

ウ. 広報活動・情報提供・利用への取り組みをする。

2. 文化芸術活動を担う人材を育む（地域で文化活動に興味を持ち、活動を主導する人材を増やすことで、地域住民の文化芸術活動の可能性を広げる）

ア. 次世代人材育成のための取り組みをする。

イ. 文化活動を支える人材の育成をする。

3. 文化芸術の鑑賞や体験の機会を提供する（音楽、演劇、ダンス、美術などの文化芸術に触れ、体験する機会を提供することで、感性豊かで多様な価値観を受け入れる区民文化の醸成に貢献する）

ア. 「ビッグバンドのまち長津田」構想を進める。

イ. 双方向オリジナル事業として参加型鑑賞事業とワークショップを実施する。

ウ. 地元アーティストの発掘・応援のために、「みどりアーティストコミットメント」「みどりピアノアンバサダー」を充実させる。

4. 幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける（年齢、性別、国籍、言語、障がいの有無、経済的状況等にかかわらず、緑区の幅広い人を受け入れ、親しまれる施設となるため、社会的包摂＝ソーシャル・インクルージョン＝の視点もふまえ、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に寄与する）

ア. 横浜市北部の文化施設連携の核としてネットワークの中心になる。

世界の解決すべき課題を知るための事業を実施する。

②効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

当館の管理運営を行うにあたり、指定管理料のみに依存するのではなく、次のような施設独自の努力や工夫を行うことが重要と考えています。

(1) 高い利用率の維持による利用料金収入の安定化

ホールについてはすでに高い利用率を達成しているため、今後は利用率を維持し、その

他の施設についても利用率を向上させ収入安定化につなげます。

1. ギャラリー稼働率の向上を目指します。

緑区の文化活動を見ると、展示が活動発表となるジャンル（絵画、水彩画、写真、書道、俳句等）の団体はグループやサークル的活動の枠組みが多く、利用料の課題が大きいと考え当団体はこの状況を踏まえて利用促進を整えるべく、合同利用を検討し利用率向上に努めます。

2. 施設の存在感のアピール、利用者・リピーターの確保

より早くより多くの人に情報を伝えるために LINE や Twitter など SNS を活用し、公共交通機関や商業施設とも連携して SNS にあまりなじみのない方々にも施設の存在をアピールします。空いている貸室は利用料金を「直前割引」として利用の促進を図ります。

3. 区民の皆様にとって利用しやすい施設運営

ソーシャル・インクルージョンについて積極的かつ生産的に考え、障がい者・高齢者・外国人・小さなお子様をお連れの方・妊娠中の方々の幅広い利用促進に努めます。

老若男女どんな方でも参加しやすい開かれたイベントを企画・開催し誰もが気軽に立ち寄ることの出来る施設づくりを目指します。コピー機のサービスや Wi-Fi 等インターネット環境を整備することで、様々な文化活動の促進および一般利用者の活動の充実に繋げ、利用率の向上を目指します。

(2) 自主事業収入の確保

1. 地域のライフスタイル・ニーズに合った魅力的な自主事業

前期指定管理期間において、利用者・来場者のニーズを徹底的に調査・分析し、その結果を踏まえて 事業を企画して、自主事業収入の増加を図ります。

2. 構成団体の強みである広報力

構成団体の持つ大きな強みである広報力を発揮して、集客・チケット販売促進を行います。

3. 収益性の高い事業を展開

「C F Xを弾こう!」「SDG s ドキュメンタリー映画上映会」など収益性の高い人気事業をホールの空き枠を活用して実施します。

4. 共催・連携事業の誘致

多彩な共催・連携事業を誘致することで事業費を支出することなく目標を達成します。

5. シリーズ事業の定着を図る

「みどりアートパーク 寄席」などのシリーズ事業の回を重ねて集客の安定化を図ります。

(3) 節電等によるコスト削減

当団体は、当施設としての一定のサービスレベルを保ち、魅力的な事業実施や広報業務での利用者増を図るための支出は適正に見込みながらも、無駄な経費を極力低減することを大前提とし、経費削減を積極的に取り組みます。特に、以下のポイントを重点課題として経費の削減と効率的な運営に努めます。

1. 備品・消耗品の管理

- 当団体では、常に備品・消耗品の見直しを図り無駄を省いた必要最低限の購入に留めるとともに発注担当者を決め、予算確認、職員相互に確認を行い日常業務の無駄を徹底的になくすよう努めます。また、消耗品については当団体のその他指定管理物件との協同で一括購入を検討し経費の削減につなげます。

2. 他施設・当団体グループ企業と連携した事業と広報活動

- 当団体が管理する他の指定管理施設と連動した事業を実施することで、企画運営にかかる費用や講師料などの軽減を図ります。
- 当団体が管理する他の指定管理施設だけでなく、当団体の広報パートナーはもち

ろん、代表企業や構成企業がもつ広報ツールも最大限活用することで、広告宣伝費の有効活用を図ります。

3. 光熱費の削減

- ・ 空調運転の適切な温度設定、閉館前の空調の停止など省エネに取り組みます。
- ・ 使用していない部屋のこまめな照明の消灯、利用者の妨げにならない程度の減灯など小さなことではありますが、従業員全員が意識して省エネに取り組みます。
- ・ 従業員だけでなく、利用者にも意識していただけるように、館内にポスターを掲示するなど協力の呼びかけを行います。

4. 施設・設備の維持管理など

- ・ 予防保全の考え方に基づいた日常点検の実施をおこないます。
- ・ 日々の点検により、不具合や破損など早期発見することで修繕費の低減を図ります。
- ・ スタッフがトイレなど利用する際に汚れに気づいた場合は、可能な限り簡易的な清掃を行います。
- ・ 小規模な修繕については職員が自らの手で行うことで経費を削減します。

(4) その他収入（補助金、助成金など）の獲得

1. 地域のライフスタイル・ニーズに合った魅力的な自主事業

前期指定管理期間において、利用者・来場者のニーズを徹底的に調査・分析し、その結果を踏まえて事業を企画して、自主事業収入の増加を図ります。

2. 構成団体の強みである広報力

構成団体の持つ大きな強みである広報力を発揮して、集客・チケット販売促進を行います。

3. 収益性の高い事業を展開

「C F Xを弾こう!」「SDG s ドキュメンタリー映画上映会」など収益性の高い人気事業をホールの空き枠を活用して実施します。

4. 共催・連携事業の誘致

多彩な共催・連携事業を誘致することで事業費を支出することなく目標を達成します。

5. シリーズ事業の定着を図る

「みどりアートパーク寄席」などのシリーズ事業は回を重ねて集客の安定化を図ります。

③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

横浜市の脱炭素化の取り組みに対し取組宣言を実施、館内に周知 PR を行っている。

また、ガス・電気を最も使用する冷温水発生機を使った館内冷暖房の仕組みに対し、常に調整を心掛けてエネルギー消費に対し節約に随時努め、全職員に徹底している。空気の環境測定に関しては、当館を含む「長津田マークタウン」全体で行っている測定調査で隔月に実施し、安全安心な環境を注視している。

1 施設管理に関する基本方針

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

① 職員の配置及び採用について

施設運営は、施設運営の方針と同様に文化施設の運営実績を持つ共同事業体の強みが出るよう、各社からスタッフを配置し、これまでの経験値を生かしながら計画し実行します。

組織構造は、従前どおり館長・副館長を軸に、施設管理及び総務全般を担当する「経営グループ」、事業企画・地域連携、協働推進・利用者サービス全般を担当する「まち文化推進グループ」の2部制とし、個々のスタッフの自律性を高めるとともに、機能の明確化により意思決定の早い効率的な組織を引続き踏襲します。

◇館長 1名、副館長 1名

- ◇経営グループ 14名（受付スタッフ 10名含む、衛生管理スタッフ 2名含む）
- ◇まち文化推進グループ 7名（舞台技術 3名含む）

職員は「早番」「遅番」の2交代制と、受付スタッフ「朝番」「昼番」「夜番」の3交代制を組み合わせることにより、全体を通して一定のサービス水準を確保します。

役職	勤務時間	人数	ポスト	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
館長		1																
副館長		1																
経営グループ長	A勤務 8:45～16:45	1	5P															
経理補助		1																
まち文化推進グループ長	B勤務 14:00～22:00	1																
まち文化推進スタッフ		3																
舞台技術責任者		1	2P～3P															
舞台技術スタッフ		2																
受付スタッフ	① 8:45～12:45	9	1P～2P															
	② 9:00～13:00																	
	③ 12:45～16:45		1P～2P															
	④ 13:00～17:00																	
	⑤ 16:45～20:45		1P～2P															
	⑥ 17:00～21:00																	
衛生管理スタッフ（清掃）		5	2P～3P															

職員の1日の配置について

前期5年間の実務経験を基に各施設の利用予定と内容を加味しながら、事務所には必ず3名以上を配置し、急な混雑や緊急事態にも十分な対応ができる体制とします。

- 事務室職員：A勤務（8:45～16:45）2名～3名 / B勤務（14:00～22:00）2名配置
- 受付スタッフ：午前、午後、夜間の3交代勤務（8:45～13:00）（12:45～17:00）（16:45～21:00）
- 舞台技術スタッフ：（利用状況に合わせシフトで対応）
- 衛生管理清掃スタッフ：（利用状況に合わせ変則シフトで対応）

② 職員の研修計画について

職員及び舞台技術者の文化芸術ホールに対する目標を明確に掲げることで、職員の能力を向上させることができると考えます。来館者の満足度を向上させる、自主事業やプログラムの質を向上させるなど、具体的な目標を定めます。

職員の現状の能力レベルを把握するために、ホール内の各職位や役割におけるスキルや知識のアセスメントを行い研修が必要な領域や優先順位を明確に具体的な研修内容を決定します。文化芸術ホールには、受付業務、来場者応対、チケット販売、自主事業企画、舞台技術などさまざまな業務が存在しますので、それに応じた研修プログラムを実施します。

研修方法はオンライン講座、外部講師によるセミナーなど、研修目的や参加者の都合に合わせて最適な方法で行います。

研修に参加した職員からのフィードバックや成果の評価を受け、今後の改善点を精査し、組織の成長と職員の能力向上に努めていきます。

具体的な研修内容

■基礎研修の実施

全スタッフが利用者対応できるよう施設運営に必要なスキルについて定期研修を実施します。

研修名	内容	実施回数
基本業務研修	施設で行う業務全般と受付業務の流れなど施設の貸出についての基本業務を学ぶ	0JT
予約システム端末操作研修	予約システムの取扱いについて学ぶ	0JT
舞台安全管理研修	安全管理を目的とし、運営職員全員が舞台設備や舞台技術の基本について学ぶ	0JT
文化的コモンズ形成に関する研修	文化的コモンズの形成について、全国の事例を交えて学習するとともに地域コーディネーターとしての知識を学ぶ	随時
接遇マナー研修	質の高いサービス提供のため、接遇マナーの向上とホスピタリティについて学ぶ	年1回
人権研修	社会的包摂及び人権問題の理解を深め、多様性について学ぶ	年1回
インスタントシニア研修	高齢者や障がい者の疑似体験を通じ、身体的、精神的変化を実感することで適切なサポート方法について学ぶ	年1回
個人情報保護研修	個人情報保護の基礎知識と個人情報保護のための具体的な取り組みについて学ぶ	年1回
コンプライアンス研修	指定管理者として必要な法令遵守を学び、コンプライアンス意識の重要性を考える	年1回
避難訓練	非常時の際、いかなる時も適切な行動をとれるよう、多数の利用者が館内にいることを想定した避難訓練を行う	年1回
防災・防火訓練	自衛消防隊の組織確認、消火訓練、消防設備等の位置確認、消防計画及び災害時行動計画の確認を行う	年1回

災害時対応研修	災害時対応訓練、交通遮断時の行動計画の確認、帰宅困難者の一時受け入れ時の行動確認を行う	年 1 回
普通救命救急講習	けが人の応急処置や急病人の心肺蘇生、AED の取扱いなど応急手当の手法を習得する	年 1 回

■ 専門職研修の実施

専門業務に携わる職員のスキルアップを目的とした技術研修を実施します。

研修名	内容	実施回数
アートマネジメント研修	アートマネジメントに関する理論と知識を学ぶ	年 1 回
著作権法研修	施設を運営するうえで取り扱う著作物の保護について学ぶ	年 1 回
舞台・照明・音響技術研修	舞台・音響・照明に関する技術者資格の取得研修を奨励	随時

③ 個人情報の保護の措置について

公の施設の指定管理者として「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に則り、「指定管理者の情報公開に関する規定」を作成し、それにもとづき情報公開の請求があった場合には適切に対応するが、業務の実施にあたっては、横浜市個人情報の保護に関する条例等、関係する法令等を遵守し個人情報の取扱いに関しては十分注意して、年 1 回以上の研修を実施するなどして全職員に周知徹底、適正な管理・運営に取り組む。

- (ア) 個人情報の保護に関する法律その他の関連法令等を遵守し、個人情報を適切に取り扱う。また、適宜取扱いの改善に努める。
- (イ) 個人情報の取扱いに関する規程を明確にし、研修等を通じて全職員に周知徹底する。
- (ウ) 個人情報の取得に際しては、利用目的を特定して明確に示すとともに、その利用目的に必要な範囲に限り利用する。
- (エ) 個人情報の漏えい、紛失、改ざん等を防止するため、必要な対策を講じて適切な管理を行う。
- (オ) 保有する個人情報について、本人からの開示、訂正、利用停止等の依頼があった場合は、所定の手続きを行った上で、誠意をもって対応する。
- (カ) 個人情報の具体的な取り扱い方法を記載した「個人情報取扱マニュアル」を整備する。

1 施設管理に関する基本方針

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

◎趣旨

近年震度 5 以上の地震が群発しているなど、大地震が現実的になりつつあります。「例年」という言葉が意味をなさないような豪雨や記録的猛暑、記録的豪雪、大規模な火災などの大きな自然災害および人為的災害も起きており、施設利用者による急病人の発生などを含めた緊急時における危機管理は冷静な判断力を持つことが求められています。パニックに陥らず、的確な指示や行動を取るため職員は常に周囲の状況を把握し、異常な兆候や緊急事態の前兆を見逃さないようにする必要もあります。職員間で連携を図ることも重要と考えます。

危機管理においては、情報共有や意思疎通を円滑に行うため、定期的な研修や情報収集活動も積極的に実施し、利用者と来館者の安全と安心を最優先に考える必要があります。適切な指示や案内、サポートを行うためにも、警察・消防署・市・緑区・近隣公共施設・交通機関などと連携し、館としても救命救急、初期消火、避難誘導、高齢者や障がい者、外国人を含め、あらゆる方々の利用を想定した「緊急対応マニュアル」を随時更新整備し、研修と訓練を反復することで全ての職員が緊急時の対応能力を身につけるよう、引き続き努めてまいります。

① 防犯、防災の対応について

- (ア) 高齢者、障がい者、外国人を含むあらゆる人の利用を想定し、それぞれに対するリスクチェックを行ったうえで施設側のハード面、ソフト面の課題を把握し、対策と対応を「事故防止マニュアル」として随時更新し整備する。
- (イ) 災害発生時の避難指示については、子どもや在留外国人にも理解しやすい、平易な表現である「やさしい日本語」やピクトグラムを使用した避難指示原稿を整備し全職員に周知する。
- (ウ) ホール利用者に対しては利用打合せ時に「避難誘導についての手引き」を配布し、緊急時の対応を説明する。
- (エ) 自衛消防組織を確立し、緊急時に職員全員が組織立った行動をおこし被害を最小限に防ぐよう、年 1 回の「避難訓練コンサート」を活用し、また休館日などに独自の訓練を実施して実践に基づいた避難訓練を実施する。
- (オ) 横浜市防災計画に基づき、地震・津波・台風・降雪・停電・交通遮断・救急要請等に対応した「災害時対応マニュアル」を随時整備する。
- (カ) 大規模災害に備え、全職員 3 日分の飲料水、トイレパック、簡易毛布などを備蓄するほか、救急救助のための資材および機材（バール、のこぎり、スコップ、ヘルメット）等を常備する。
- (キ) 開館中は職員による定期的な館内巡回を実施するほか、監視カメラによる録画とモニターによる館内状況の監視、緑警察署と連携を行い防犯に努める。
- (ク) 必要に応じ来館者へ声かけを行うことで、具合の悪いお客様に注意を行うと同時に、不審者の早期発見に努める。施錠も徹底し不審者が館内に立ち入らないよう十分気を付ける。
- (ケ) 帰宅困難者が発生するような事態に備え、LINEWORKS を利用して「帰宅困難者

対応グループ」で連携を取り、帰宅困難者受け入れの体制を構築し、シミュレーションを行う。

② その他緊急時の対応について

- (ア) 緊急事態が発生した場合は、必要な措置を講じるとともに緊急連絡網により区を含む関係各所へ連絡し連携・協力して必要な対応にあたる。
- (イ) 全職員が普通救命講習を受講し、緊急時の応急処置と AED の取り扱いを習得する。AED の保守管理も、いざという時に間違いなく使えるよう徹底する。
- (ウ) 別途整備する「緊急対応マニュアル」に則り、定期的な訓練と研修を行うことで全職員が緊急時に的確な行動をとれるよう努める。
- (エ) 館内巡回の際、日常の衛生管理を確認し徹底する。
- (オ) 吐瀉物の処理や高齢者の失禁に対し、衛生面での配慮を怠らず適正に対処できるよう事前に用意し対応する。
- (カ) 衛生備品を常備するとともに、職員に対し感染症対策に関する知識教育を実施する。

1 施設管理に関する基本方針

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について

① 建物・設備等の保守・点検について

令和8年度では前年度に引き続き、よりいっそう「来館者が安心できる快適な環境を提供すること」を趣旨に、施設の維持管理を進めてまいります。

年間実施計画に基づき、計画的な点検・維持管理および修繕に取り組み、不具合の出た設備等についてはできるだけ早急に更新を行い、利用者の皆様に安心してご利用いただけるよう努めてまいります。あわせて、日常の巡視・確認を通じて不具合の早期把握に努めてまいります。

昨今、人件費上昇や部品コストの上昇の傾向にあります。2013年の開館より12年以上を経過して不具合箇所が次々出てくるようになってきていることもあり、修繕は可能な限り修繕費を抑えつつ迅速に実施し、設置備品も更新することで、施設機能を低下させることなく設備の高寿命化を推進してまいります。

感染症拡大防止対応についても、引き続き状況に応じて迅速に対応してまいります。

A. 重点項目

安心・安全で快適な利用環境の維持と整備への取り組み

1. 年間管理計画表に基づいた施設・設備定期保守点検の完全実施
2. 施設総合巡視点検の強化や日常的な施設職員による不具合箇所の早期発見、迅速な復旧
3. メーカーが推奨する経年劣化による部品交換及び更新工事を順次実施
4. 環境に配慮した清掃業務

B. 施設総合巡視点検の強化や施設職員による不具合箇所の早期発見、迅速な復旧

1. 休館日に行う月1回の施設総合巡視点検を意識的に強化
2. 総務担当職員が早番時(月10～12回程度)の開館前に目視で点検を行うと同時に、清掃スタッフから男女大便器水漏れ等の不具合のヒヤリング実施
3. 不具合箇所早期発見のため、施設職員が貸室終了時の点検を利用者となった想定で毎回実施
4. アンケートや受付対応時の利用者の声を重視し、不具合などについて可能な限り迅速に対応
5. 地震などの災害や暴風雨・積雪が起こった際に、直後の点検は念入りに行う

C. メーカーが推奨する経年劣化による部品交換及び更新工事を順次実施

1. 電気設備部品、自動ドア部品、通信設備(電話機器)、監視カメラ・モニター等、予算と緊急性を考慮しながら早急に更新を行う
2. 利用に関わる修繕や更新は利用者の便を優先し、最速の空き時間から次回の休館日を目標に実施する

② 清掃業務について

A. 年間管理計画表に基づいた施設・設備定期保守点検の完全実施という方針に則り、下記の各清掃を行う（添付「04_管理計画表」参照）

- ・ 毎日の各室清掃
- ・ 貸館のスケジュールに基づき、利用各室催事後随時の清掃
- ・ 床・窓ガラス・照明・汚水槽・湧水槽・消火水槽の清掃

B. 環境に配慮した清掃業務

- ・ 令和6年度より導入したカーペットクリーニング・日常清掃で使用するアルカリイオン電解水を継続使用
- ・ 利用者等の嘔吐・排泄があった際の清掃時に消毒を必ず実施

2 指定管理事業に関すること

(1) 指定管理事業計画に対する基本的な考え方

- ① 指定管理事業について
- ② 指定管理事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

① 指定管理事業について

文化芸術は人と人の絆、地域と人を結ぶ源泉であり、誰もが対等な関係で互いを尊重しあえる共生社会の実現、社会変化における地域の様々な課題を解決に資する力があります。区民にとって、身近な場で文化芸術に触れることは、心豊かな生活の礎となり、地域の魅力に繋がるものと考えています。

これまで築いた区民、自治会・町内会、商店街、区内活動団体、教育機関等と更に連携を深めるとともに、新たな活動団体、企業、個人等との出会いを創出し、さらに区内全域につながりを広げていきたいと考えています。このつながりの広さ、深さが、地域の文化芸術活動の振興に寄与するものと考えています。

わたしたち「みどりアート&メディアパートナーズ」は各構成団体（神奈川新聞社、tvkコミュニケーションズ、横浜市芸術文化振興財団、ジャパントータルサービス）の持つ強みを最大限に活かして、前期5年間では稼働率目標を大幅に上回って達成したほか、自主事業来場者の満足度においても極めて良好な結果を打ち出すことができました。多彩な区内外のパートナーと良好な関係・連携を構築した結果が実績に表れています。

わたしたちは、区民の皆さまをはじめとする多くのパートナーからの期待と信頼に応えるために、これまで取り組んできたこと、培った知見や多くのネットワークを今期につなげ更なる発展を遂げることを目標にしています。

指定管理期間5年間の節目までに、みどりアートパークをより一層魅力的で存在感のある地域の文化拠点、区民文化センターにします。そして、多くの区民の皆さまが住み続けたいと感じ、誇りに思うような魅力と賑わいがあふれる街づくりに寄与します。

② 指定管理事業の運営方法について

2期目を終える時期に思い描く姿を実現するために必要なミッションは次のことと考えます。

1. 「つなぐ」力で地域の文化活動を支援、文化活動に関わる人材を育成

前期指定管理期間で培った地域の人と人、地域と企業、地域と外国人居住者、地域と次世代の担い手、地域と区内施設等を「つなぐ」力で、区民の文化活動を強力に支え、様々な神座育成の取り組みを行います。

2. 社会や地域の課題に寄り添う

横浜市や緑区の政策に沿ってSDGsやインクルーシブを意識した運営を行います。区内唯一の専門文化施設として、122の自治会11地区の連合会とともに、住みよい街づくりのための活動に文化で貢献します。また、地域が一体感を持って創り上げるイベント「ビッグバンドのまち構想」を推進します。

3. 北部文化施設連携のコアとしての役割を果たす

市内中心部だけでなく周辺部での文化振興に注目が集まっている今、北部4区での文化施設の役割が重要視されています。これまでのフィリアホール、ギャラリーあざ

み野に加え、ミズキーホール、ボッシュホールとの5館連携のけん引役を担い、北部地域の文化振興に寄与します。

4. 施設の適正な管理・利用促進・経営の安定

前期に引き続き、公平、公正、安全・安心な施設管理を行い、これまで維持ユニ利用者目線でのサービスを充実させ、安定したホール経営を行います。

③PRの強化について

当団体の最大の強みは、代表団体と構成団体に蓄積されたノウハウと広報発信力にあると考えています。

メディアサポートグループ6社との連携により、多層的、多角的な広報を展開してします。

利用者の文化芸術事業の開催リリースの提供や、事業開催情報を記事化、映像化し、広く活動や取り組みを周知するなど、情報発信力を高め、区民の活動支援に繋がります。

ア. 神奈川新聞

月1回される「みどりアートパークインフォメーション」に掲載します。

- ・みどりアートパークの自主事業の利用案内
- ・利用者の文化芸術事業
- ・地域情報

イ. デジタルサイト「カナロコ」

紙面記事をデジタルサイト「カナロコ」で展開します。

「カナロコ」サイトはYAHOO!ニュースと提携しており、さらなる広報展開が期待されます。

ウ. その他

LINEアプリはスマホ・ケータイ所有者のうちLINE利用率が83.7%。全世代でLINE利用率は他のSNSよりも高く、10～60代で8～9割以上が利用しています。みどりアートパークへ来館される高齢の方も、手軽にメッセージのやり取りができるLINEを多く使われています。

パソコンを起動しなくても、LINEお友だち登録をしていれば、スマホ画面からみどりアートパークのホームページやイベントカレンダー情報、チケット販売情報などを手軽に確認できるため、昨年11月よりLINE公式アカウントを取得して、施設利用者や来館者へ周知しています。LINEならではのリアルタイムな情報やお得なクーポンなどを発信することでアートパークファンを増やし、利用者の満足度を高める工夫を行っています。

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

(目標 稼働率 81%)

(2) 利用料金収入、その他諸収入の増に向けた取り組みについて

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

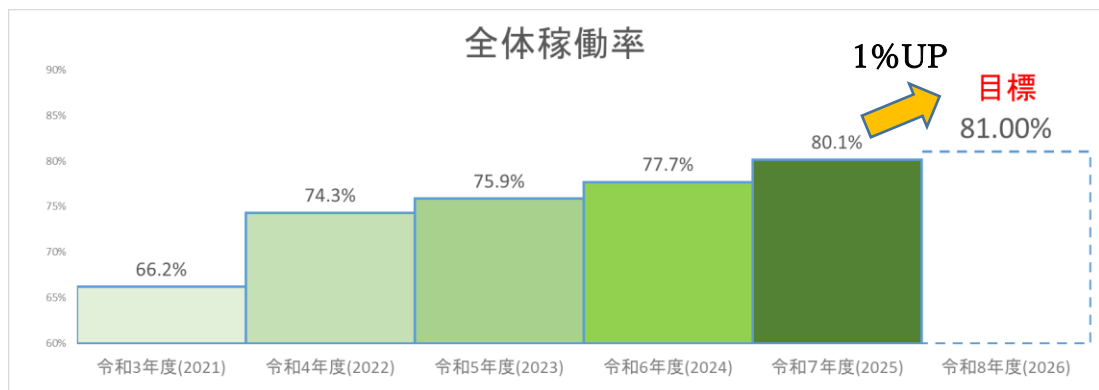
(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

2025 年度(2025 年 4 月～2026 年 2 月)の館全体稼働率は、80.1%であった。

2026 年 8 月からの大規模修繕による平日ホールを中心とした稼働率低下などの懸念事項はあるものの、全体およそ 1%アップの全体稼働率 81%を目標とします。

大規模修繕中の建物というハード面のマイナスを、ピアノや楽器類の良好な維持管理、各室の清潔状態などを高いレベルで提供するといったソフト面の充実で補っていきます。



(2) 利用料金収入、その他諸収入の増に向けた取り組みについて

(目標 利用料金収入令和 7 年度予算 1.5%増)

① 利用料収入については、都筑区民文化センター・港北区民文化センターの相次ぐ開館などで令和 6 年度・7 年度と大きく影響を受け、引き続きその影響下というマイナス要素はありと予想しています。しかし指定管理者審査の提案で掲げた 5 年間の目標を達成させるため、前年度予算が低空飛行の予算を組んだものの当初の目標値をにらんで元に戻し、令和 7 年度予算の 1.5%増を令和 8 年度の目標とし、ホールやギャラリーの稼働率を上げる工夫を行ってまいります。

②自主事業収入は、現状計画されているもののほか、文化活動にかかわる次世代人材育成やジャズで地域を盛り上げる「ビッグバンドのまち長津田」構想、北部文化施設の連携のコアとなるような計画に沿った、新たな事業創出を目指し着実な収益増を図ります。

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

・幅広い世代と一緒に文化活動を行う機会創出のため、ジャズで地域を盛り上げる活動の一環として昨年度からスタートしたラテンジャズのワークショップ「ビッグバンド道場」では、15 歳から 80 歳までの 20 名の参加者によるバンドを結成しました。「横濱

ジャズプロムナード」への出演を目標に据えた彼らの活動を支援します。

・地域や社会の課題に寄り添うべく、区内外の様々な施設や団体、アーティストとの連携を深め、あらゆる世代を対象とした事業を展開します。特に「オープンデー」ではどなたでも入場無料で気軽に文化芸術体験できる企画を多数展開します。

・あらゆる世代の文化活動の担い手と支援者を育成する取り組みとして、ショパンコンクール第4位を受賞した「桑原志織リサイタル」や「綾戸智恵スペシャルライブ」「みどりアートパーク寄席」などの公演事業だけでなく、「避難訓練コンサート」「神奈川フィルメンバーによる楽しく学べるコンサート」といった体験型文化事業・参加型鑑賞事業のほか、「DEI ダンスワークショップファシリテータ育成講座」などの人材育成にも取り組んでいます。

(4)その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

ア. 多くの区民・団体・施設・自治会・アーティストに関わっていただき、街の魅力をアップするために始めた「ビッグバンドの街構想」は、「参加型鑑賞事業とワークショップ」として始動しております。前述の「(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて」で触れた事業と重複にはなりますが、「みどりビッグバンド道場」は、昨年度、第1期生が約半年間に渡る練習期間を経て「Orguesta VerdeZ(緑の楽団)」というバンド名で当館ホールのステージで演奏を披露しました。現在は、若干のメンバー入替をしながら、第2期として4月25日のステージに向けて、日夜励んでおります。第3期プロジェクトも進行中で、横濱ジャズプロムナード2026のステージを目標にしております。将来的には、このバンドが当館の事業から卒業し、当館のお客様として練習室、ホールを利用してくれる、またそのようなバンドが、今後複数誕生していくような環境を作り上げていきます。

イ. SDGs 未来都市である横浜市の文化施設として、当館では、区民の身近な文化拠点としてSDGsを知り考えていく機会を、映画上映会という形で提供してきました。

環境問題、貧困、教育、ジェンダー平等など、企業や教育の場、行政など、さまざまな分野で取り組みが進み、「SDGs」という言葉自体も広く浸透した一方で、課題も見えてきたことも事実です。また、「SDGs」が2030年までの達成目標であることから、その先を見据えての新たな取り組みが求められています。

そうした背景で近年、SDGs (Sustainable Development Goals) から SWGs (Sustainable Well-being Goals) という言葉が注目され始めています。SWGsは、「持続可能性」に「Well-being (幸福・心地よさ)」を掛け合わせた概念で、社会や環境を守ることに加え、「人が幸せに生き続けること」の重要性に着目しています。2026年度は、従来のSDGs映画上映会に加え、SWGsの要素を取り入れた作品の上映を行っていきます。

令和8年度文化事業計画書（2026年度）

事業名	開催時期	開催場所	開催回数	入場・参加人員		文化事業経費				1人あたり入場・参加料		事業概要
				募集人数 (人)	延人数 (人)	指定管理料 充当額	入場・参加者	その他 (千円)	総経費 (千円)	徴収の有・無	入場・参加料	
CFXを弾こう！	4～3月	ホール	36	5	180	-900	900	0	0	有	5,000	ホール利用のない日を利用し、コンサートピアノで練習できる機会を提供 2時間×5コマ 月3日程度実施
SDGsドキュメンタリー映画上映会	4～3月	ホール	12	60	720	-588	720	0	132	有	1000	SDGsに関連するドキュメンタリー映画上映会 毎月1回開催。
DEIダンスファシリテータ育成講座「のはらカレッジ」ベーシックコース	8/29,30,9/12,13,26,27(当館開催は9/26,27)	ギャラリー	6	15	90	520	180	0	700	有	2000	誰もが活き活きと表現するためのダンスファシリテータ育成プログラム初級編 共催:東京芸術劇場 調布グリーンホール
DEIダンスファシリテータ育成講座「のはらカレッジ」アドバンスコース	1/10,17,24,2/14,21,28,3/7(当館では3/7の発表公演)	ギャラリー	7	15	90	520	180	0	700	有	2000	誰もが活き活きと表現するためのダンスファシリテータ育成プログラム中級編 共催:東京芸術劇場 調布グリーンホール
みどりビッグバンド道場	5～3月	リハーサル室	20	20	400	600	1,200	0	1,800	有	3,000	いばひでのぶ氏の指導によるビッグバンド教室
第42回かながわ音楽コンクール	4/4(土)	ホール	1	-		0	0	0	0	無	0	ピアノ、ユースピアノ、ヴァイオリン各部門の予選を実施 主催:神奈川新聞社
プリマヴェーラ ホルントリオコンサート	4/18(土)	1	1	-		0	0	0	0	有	3000	田奈在住の世界的ホルン奏者山岸博氏によるピアノ・ヴァイオリンとのアンサンブル 主催:Mスペースプランニング
熊本地震義援コンサート	4/19(日)	1	1	-		0	0	0	0	有	3000	熊本地震から10年の今、復興を支援するためのチャリティーコンサート 主催:熊本地震義援コンサート実行委員会
3バンド合同コンサート	4/25(土)	ホール	1	-		0	0	0	0	有	3000	みどりビッグバンド道場参加者によるバンドを含むラテンビッグバンド3バンド合同のライブ 主催:Bigband Service Clinic
BigBandNIGHT vol16	5/16(土)	ホール	1	-		0	0	0	0	有	3000	幅広い年齢層を対象にしたジャズの演奏会 出演:The Bigband of ROGUES(東京キューバンボーイズJr.) 主催:Bigband Service Clinic
神奈川フィルメンバーによる楽しく学べるコンサートvol3	5/31(日)	ホール	1	334	250	100	500	0	600	有	2000 1500	地元ゆかりのある神奈川フィルメンバーによる曲目解説付きのコンサート協力:緑区民音楽祭実行委員会 神奈川フィル
みどりアートパーク寄席 円楽鯉丸二人会	6/14(日)	ホール	1	334	250	50	750	0	800	有	3,000	今最も勢いのある若手真打と区内在住の落語家との二人会
夏至トワイライトガーデン	6/21(日)	にいはる里山交流センター	1	-		22	0	0	22	無	0	文化支援パートナーと連携して野外での交流イベントを実施する。当館は市民音楽家によるコンサートに協力 主催:にいはる里山交流センター
避難訓練コンサート	6/24(水)	ホール	1	100	100	50	0	0	50	無	0	公演時災害発生を想定した訓練とコンサート。協力:横浜市消防音楽隊緑消防署長津田出張所 マークタウン自治会
横浜市中学校(北部地区)演劇発表会	7/5(土)・7/23(水)～25(金)	ホール	5	-		0	0	0	0	無	0	緑区及び近隣地区の中学校生徒による創作劇発表。主催:横浜市中学校演劇研究協議会
神奈川チェンバー・オーケストラ レクチャーコンサート	7/25(土)	ホール	1	-		0	0	0	0	有	2500	県内の若手を中心とするオーケストラ公演の事前レクチャーコンサート 主催:県央音楽家協会
桑原志織リサイタル	8/2(日)	ホール	1	334	300	-200	1,200	0	1,000	有	4000 3500	2025年ショパンコンクール日本人最高位の4位入賞の桑原志織によるリサイタル
DEIダンスワークショップ「のはらハみどり」	8/2,9/2,9/27,10/3,11/8	ギャラリー	5	20	100	150	50	100	300	有	500	誰もが活き活きと表現するためのダンスWS 共催:NPO法人みんなのダンスフィールド 後援:東洋英和女学院大学
子どもアドベンチャーカレッジ 舞台のお仕事探検ツアー	8/7(金)	ホール	2	10	20	30	0	0	30	無	0	夏休みの小学生を対象とした舞台見学と制作のWS 主催:横浜市教育委員会
全国共済コンサート	8/23(日)	ホール	1	-		0	0	0	0	有	3000	ピアノ、尺八などによる異色のコラボ公演 主催:全国共済
神奈川チェンバー・オーケストラ サマーコンサート2026	9/5(土)	ホール	1	-		0	0	0	0	有	3000	県内の若手を中心とするオーケストラの公演 主催:県央音楽家協会
BigBandNIGHT vol17	9/6(日)	ホール	1	-		0	0	0	0	有	3000	幅広い年齢層を対象にしたジャズの演奏会 出演:The Bigband of ROGUES(東京キューバンボーイズJr.) 主催:Bigband Service Clinic
みどり音楽空間	9/12(土)	ホール	1	334	250	-150	250	0	100	有	1,000	ジャンルを問わずご参加いただける参加型ライブイベント。連携:吉野町市民プラザ・岩間市民プラザ
赤い鳥のコンサート	9/19(日)	ホール	1	-		0	0	0	0	有	3000	緑区在住の声楽家によるアンサンブル公演 主催:ヴェルデ
みどりアートパーク寄席「立川晴の輔独演会」	9/21(月祝)	ホール	1	334	250	25	875	0	900	有	3,500	緑区在住の落語家瀧川鯉丸をゲストに迎える、笑点メンバー立川晴の輔の会
みどりアートパークオープンデー	10/3(土)	全館	1	1000	1000	650	0	150	800	無	0	みどりアートパークの会館記念日に全館で様々なイベントを実施
地域ケアプラザ作品展	未定	ギャラリー		-		0	0	0	0	無	0	地域ケアプラザ来場者の作品の展覧会 主催:地域ケアプラザ

第7回緑区民音楽祭新人演奏会	10/18(日)	ホール	1	-		0	0	0	0	有	3,000	3月に実施したオーディションで入賞した声楽・ピアノ部門の若手演奏家によるコンサート 主催:緑区民音楽祭実行委員会
長津田祭り	11/3	ホール リハーサル室 会議室	1	-		0	0	0	0	無	0	例年11/3に開催されている地元のお祭りのステージ部門 主催:長津田祭り実行委員会
BigBandNIGHT vol18	11/14(土)	ホール	1	-		0	0	0	0	有	3000	幅広い年齢層を対象にしたジャズの演奏会 出演:The Bigband of ROGUES(東京キューバンボーイズJr.) 主催:Bigband Service Clinic
ジャズプロサテライト みどりBigBandジャズパーク	11/23(月祝)	ホール	1	334	250	0	625	0	625	有	2500	ジャズで地域を織り上げる構想の一環として初開催するビッグバンドのフェスティバル 協力:みどりジャズ友の会 横濱ジャズプロムナード実行委員会
ジャズプロサテライト 綾戸智恵スペシャルライブ	12/19(土)	ホール	1	334	300	100	1,200	0	1,300	有	4,000	ジャズヴォーカル＆ピアノの綾戸智恵によるスペシャルライブ 共催:横濱ジャズプロムナード実行委員会
緑区役所お昼のロビーコンサート 東洋英和女学院大学ハンドベル部 クリスマスハンドベルコンサート	12月中旬	緑区役所	1	30	30	33	0	0	33	無	0	多くの区民が訪れる区役所1階ロビーでの無料公演
横浜市中学校(北部地区)演劇発表会	12/26(金)～ 28(日)	ホール	5	-		0	0	0	0	無	0	緑区及び近隣地区の中学校生徒による創作劇発表。主催:横浜市中学校演劇研究協議会
神奈川県立白山高等学校 白山美術展	1/16(金)～18 (日)	ギャラリー 会議室	1	-		0	0	0	0	無	0	区内にあり、美術科のある県立高校の卒業制作展 主催:神奈川県立白山高等学校
BigBandNIGHTバレンタインコンサート	2/14(土)	ホール	1	-		0	0	0	0	有	3000	幅広い年齢層を対象にしたジャズの演奏会 出演:The Bigband of ROGUES(東京キューバンボーイズJr.) 主催:Bigband Service Clinic
【横浜市芸術文化教育プラットフォーム】 学校プログラム	9～12月	近隣の市立小 中学校	3	-		-70	0	350	280	無	0	学校教育とアートをつなぐプログラムを通じて子どもたちの創造性をはぐくみ、豊かな情操を養う機会提供
地域イベント支援	通年	区内	3	-		50	0	0	50	-	0	区内各所でのイベントの企画、アーティストコーディネート等を要望に応じて実施
						4580	992	8630	600	10222		

9,230 ←収入合計

令和8年度緑区民文化センター管理計画表

※△は遠隔監視による

[illegible]

令和8年度緑区民文化センター管理計画表

※△は遠隔監視による

[illegible]

令和8年度 「緑区民文化センター」 収支予算書兼決算書
(08. 04. 01～09. 03. 31)

収入の部 (税込、単位：円)

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
	指定管理料	132,091,000		132,091,000		132,091,000	横浜市より
	利用料金収入	30,939,000		30,939,000		30,939,000	
	自主事業収入	8,360,000		8,360,000		8,360,000	
	補助金・助成金等	600,000		600,000		600,000	
	雑入	497,300	0	497,300	0	497,300	
	マークタウン電気・水道利用料	67,000		67,000		67,000	
	自動販売機設置収益金	120,000		120,000		120,000	
	KDDI基地局電気使用料	20,300		20,300		20,300	
	その他（ゴミ袋代・チケット販売手数料等）	290,000		290,000		290,000	
収入合計		172,487,300	0	172,487,300	0	172,487,300	

支出の部

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費		88,098,212	0	88,098,212	0	88,098,212	
	給与・賃金	88,098,212		88,098,212		88,098,212	館長・副館長及び職員10名＋時給職員9名
	社会保険料			0		0	
	通勤手当			0		0	
	健康診断費			0		0	
	勤労者福祉共済掛金			0		0	
	退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費		9,993,000	0	9,993,000	0	9,993,000	
	旅費	175,000		175,000		175,000	出張旅費含む
	消耗品費	2,331,000		2,331,000		2,331,000	事務消耗品費
	会議賄い費	72,000		72,000		72,000	
	印刷製本費	1,892,000		1,892,000		1,892,000	
	通信費	1,140,000		1,140,000		1,140,000	電話代・郵送料等
	使用料及び賃借料	123,000	0	123,000	0	123,000	
	横浜市への支払分	123,000		123,000		123,000	ベンダー目的外使用料等
	その他	0		0		0	
	備品購入費	1,029,000		1,029,000		1,029,000	
	図書購入費	54,000		54,000		54,000	
	施設賠償責任保険	291,000		291,000		291,000	
	職員等研修費	27,000		27,000		27,000	
	振込手数料	95,000		95,000		95,000	
	リース料	1,158,000		1,158,000		1,158,000	
	手数料	0		0		0	
	ショーウインドウ装飾費	283,000		283,000		283,000	
	広告宣伝費	685,000		685,000		685,000	
	キャッシュレス手数料	512,000		512,000		512,000	
	地域協力費	126,000		126,000		126,000	地域イベントの協力費等
事業費		9,928,000	0	9,928,000	0	9,928,000	
	自主事業費	9,928,000		9,928,000		9,928,000	イベントの実施
管理費		62,416,088	0	62,416,088	0	62,416,088	
	光熱水費	21,968,000	0	21,968,000	0	21,968,000	
	電気料金	15,352,000		15,352,000		15,352,000	
	ガス料金	4,743,000		4,743,000		4,743,000	
	水道料金	1,873,000		1,873,000		1,873,000	
	清掃費	12,332,000		12,332,000		12,332,000	日常・定期清掃費
	修繕費	2,017,088		2,017,088		2,017,088	
	機械警備費	792,000		792,000		792,000	
	設備保全費	14,976,000	0	14,976,000	0	14,976,000	
	空調衛生設備保守	3,804,000		3,804,000		3,804,000	
	消防設備保守	0		0		0	
	電気設備保守	4,776,000		4,776,000		4,776,000	
	害虫駆除清掃保守	781,000		781,000		781,000	
	駐車場設備保全費			0		0	
	その他保全費	5,615,000		5,615,000		5,615,000	ピアノ、音響、コピー機保守費
	共益費	10,331,000		10,331,000		10,331,000	
公租公課		1,092,000	0	1,092,000	0	1,092,000	
	事業所税	0		0		0	
	消費税	1,068,000		1,068,000		1,068,000	
	印紙税	24,000		24,000		24,000	
	その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）		960,000	0	960,000	0	960,000	
	本部分	960,000		960,000		960,000	労務・経理等の本部事務経費
	当該施設分	0		0		0	
二一ズ対応費		0		0		0	
支出合計		172,487,300	0	172,487,300	0	172,487,300	
差引		0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

令和8年度 緑区民文化センター 委託業務一覧

	業務名	業務内容	委託する相手方		委託契約の期間	委託契約の締結方法
			業者名	市内 中小企業		
1	設備総合巡視点検	定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社	○	R8.4.1 ～ R9.3.31	④その他
2	電気設備点検	電気事業法に基づく定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社 (一般財団法人関東電気保安協会)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
3	自家用発電機設備点検	消防法、電気事業法に基づく定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社 (東洋産業株式会社)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
4	自家用発電設備負荷試験	消防法に基づく定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社 (能美防災株式会社)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
5	熱源機器等保守点検	定期保守点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社 (矢崎テクノ株式会社 横浜支店)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
6	空調自動制御点検	定期保守点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社 (東ﾂ株式会社 横浜支店)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
7	空調設備保守点検	定期保守点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社	○	R8.4.1 ～ R9.3.31	④その他
8	PACフロン簡易点検	定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社	○	R8.4.1 ～ R9.3.31	④その他
9	汚水槽・雑排水槽清掃、湧水槽清掃、消火水槽清掃	ビル管理法に基づく定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社 (大成興業株式会社)	○	R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
10	ばい煙測定	定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社 (株式会社ﾀﾞｲｲ)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
11	P C D（害虫防除）	ビル管理法に基づく定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社 (株式会社明誠)	○	R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
12	空気環境測定	定期点検	長津田マークタウン管理組合		R8.4.1 ～ R9.3.31	
13	昇降機保守点検（乗用）	建築基準法12条に基づく定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰｸﾚｰﾋﾞｽ株式会社 (三菱電機ﾋﾞﾙﾘｳｰｼｮﾝｽﾞ株式会社)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約

令和8年度 緑区民文化センター 委託業務一覧

	業務名	業務内容	委託する相手方		委託契約の期間	委託契約の締結方法
			業者名	市内 中小企業		
14	昇降機保守点検（荷物用）	建築基準法12条に基づく定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰﾀﾙｾｰﾋﾞｽ株式会社 (守谷輸送機工業株式会社)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
15	自動ドア保守点検	定期保守点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰﾀﾙｾｰﾋﾞｽ株式会社 (株式会社神奈川ﾌﾞﾛｳﾝ)	○	R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
16	シャッター保守点検	定期保守点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰﾀﾙｾｰﾋﾞｽ株式会社 (三和シャッター工業株式会社)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
17	日常清掃 床面・窓・照明定期清掃	清掃業務	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰﾀﾙｾｰﾋﾞｽ株式会社		R8.4.1 ～ R9.3.31	④その他
18	廃棄物処理	清掃業務	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰﾀﾙｾｰﾋﾞｽ株式会社 (株式会社ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾃｸ)	○	R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
19	フロアマット・モップ設置	清掃業務	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰﾀﾙｾｰﾋﾞｽ株式会社 (株式会社ﾏﾆｸﾘｰﾝ東京)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
20	中央監視カメラ点検	保守定期点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰﾀﾙｾｰﾋﾞｽ株式会社 (株式会社通信設備ｲﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ)	○	R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
21	機械警備設置	夜間警備	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰﾀﾙｾｰﾋﾞｽ株式会社		R8.4.1 ～ R9.3.31	④その他
22	自動体外式除細動器 (AED) 設置	AED常時設置	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰﾀﾙｾｰﾋﾞｽ株式会社 (日本光電工業株式会社)		R8.4.1 ～ R9.3.31	④その他
23	消防用設備点検	消防法に基づく定期点検	長津田マークタウン管理組合 (能美防災株式会社横浜支社)		R8.4.1 ～ R9.3.31	
24	建築基準法第12条点検 (建築設備)	定期保守点検	ｼﾞｬﾊﾟﾝﾄｰﾀﾙｾｰﾋﾞｽ株式会社 (明光防災)		R8.4.1 ～ R9.3.31	②見積合わせは行わず選定した者と契約
25	ピアノ調律・保守管理	定期保守点検	株式会社ｵｹﾞﾓﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ (株式会社ｵｹﾞﾓﾆｹｰｼｮﾝｽﾞﾃﾚﾋﾞｼｮﾝ)	○	R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
26	ホール座席保守点検	定期保守点検	株式会社ｵｹﾞﾓﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ (有限会社共栄企業)		R8.4.1 ～ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約

令和8年度 緑区民文化センター 委託業務一覧

	業務名	業務内容	委託する相手方		委託契約の期間	委託契約の締結方法
			業者名	市内 中小企業		
27	舞台吊物機構保守点検	定期保守点検	株式会社tvkコミュニケーションズ (株式会社橋田舞台設備)		R8.4.1 ~ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
28	舞台照明設備保守点検	定期保守点検	株式会社tvkコミュニケーションズ (東芝ライテック株式会社)		R8.4.1 ~ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
29	舞台音響設備保守点検	定期保守点検	株式会社tvkコミュニケーションズ (ヤマサウンドシステム株式会社)		R8.4.1 ~ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
30	舞台映像設備保守点検	定期保守点検	株式会社tvkコミュニケーションズ (株式会社映像システム)		R8.4.1 ~ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約
31	練習室楽器保守点検	定期保守点検	株式会社tvkコミュニケーションズ (株式会社カメイ)	○	R8.4.1 ~ R9.3.31	③見積合わせは行わず昨年度と同じ者と契約